

21世紀の県都を支える 秋田中央道路 がスタートします

秋田駅の東西を地下で結ぶ自動車専用道路「秋田中央道路」が、このほど建設大臣の事業認可を受けました。
これにより、片側一車線の対面通行での平成十九年度開通をめざし、県の事業として今年度から整備が進められます。

千秋公園のお堀の下を通る 片側一車線の対面通行

事業認可が下りたのは、秋田駅東側の手形字中谷地から、千秋公園のお堀の下を通り、旭北錦町までの全長約二・四キロ。片側一車線の対面通行で、途中、中央街区に、駅東方面からの出口専用となるランプを設けます。

秋田中央道路は、秋田自動車道の秋田中央インターチェンジから市中心部までの所要時間を短縮するとともに、秋田駅東西間の交通の便を良くし渋滞を緩和するものです。また、再開発が進められる中央街区の活性化にも役立つ道路として期待されています。

工事はシールド工法で

トンネル建設工事は、出入り口部分と中央街区ランプおよび千秋公園のお堀の一部は地上から掘り下げる開削工法で行いますが、それ以外の部分は、もぐらのように地中を横穴式に掘り進むシールド工法で行い、秋田駅の東側から掘り始めます。

大規模な工事となりますので、できるだけご迷惑をおかけしないよう、沿道のみなさまとも連絡を密し、十分な対応をしながら工事を進めます。

法的規制などの説明会

事業認可されたことにより、事業予

